

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和六年四月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー ④7】

《菱田 春草》 その2

琴弾山の山上に「弓張月」の石碑がありますが、「弓張月」という文字は菱田 春草（ひしだしゅんそう）が書いたものだと考えられます。菱田春草は岡倉天心の門下で横山大観や下村観山らと共に明治期の日本画の革新に貢献しました。作風の特徴である『朦朧体（もうろうたい）』という技法は岡倉天心の「何とか空気を絵で表現する方法はないか」という問いかけがきっかけとなり試行錯誤を重ねて生まれたと言われます。



明治四十一年、春草三十歳で眼病（腎臓病からの網膜炎）が発祥。一次的な回復から再発までの短い期間に「落葉」「黒い猫」（いずれも重要文化財に指定）など貴重な作品を次々制作しており、画家 平山郁夫氏は春草を「近代日本画にあっては、暗い夜空のようにある方向を示した天才である」と記述しています。明治四十四年病気が再発し、視力が戻らないまま三十六歳で生涯を終えました。

発し、視力が戻らないまま三十六歳で生涯を終えました。

◆ 公園清掃日について ◆

今月の清掃日は 4月8日です。
午前八時～九時（雨天：4月15日）

琴弾公園の池付近に集合
みなんでいい汗を流しましょう。
※問い合わせ080-3211-1962

【琴弾公園クイズ 60】

琴弾山の中腹にある神恵院には開基から一四二年間にわたる周辺の歴史と寺歴の記録書(有形文化財)が保存されています。それは次のどれ？

- ① 古事記
- ② 吾妻鏡
- ③ 弘化録

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



琴弾公園の桜の標本木はコイソ館前の三角形の池のほとりにある古い桜です。ここで5輪の花が咲いたら

開花宣言となります。琴弾公園は平成十六年、台風による高潮の被害でたくさん桜が枯れてしまいました。そんな中で静かに生き残り今もきれいな花を咲かせ、その後池を花びらで美しく飾る姿がとても好きで毎年楽しみにしています。江戸時代の芝居小屋で、ただで見せてもらおう代わりに掛け声をかけてパツと盛り上げる役の偽客を、桜がパツと咲いてスツと散る姿になぞらえて「サクラ」と呼ぶようになったのだそうです。ネットショップで嘘の評価を書き込むサクラはとても困る存在ですが、舞台を盛り上げるサクラは大事な役割かもしれません。だって良いタイミングの掛け声ってすぐくむずかしいですよ。ね。



(M)

◆ いいまちづくり観音寺輝き隊 ◆

私たちは「琴弾公園の魅力が高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようという頑張りがあります。